

定点カメラ情報システム 「ミルモット」標準タイプ

NETIS 登録技術

国土交通省新技術情報提供システム

■技術名称：エコモバイル定点カメラ
情報サービス「ミルモット」
■登録番号：HK-090002-V

設計比較対象技術

MRMT-4

遠隔地からでも写真撮影して現場状況を把握！ 遠隔地からの監視と 機器制御をこの1台で

通信モジュールと防水監視カメラの組み合わせにより、自動または手動での遠隔定点写真撮影が可能。遠隔地のパソコンやモバイル端末から、専用のASPサーバを介していつでも手軽に現地の様子を参照することができます。

また、本体に接点入出力装置を内蔵し、現地に設置した発電機やポンプ、照明などの機材を遠隔操作することが可能であり、その拡張性の高さから、幅広い用途と多数の導入実績を誇っています。

ソーラー電源と小型防水筐体の採用により、可搬性、設置簡易性に優れており、動作温度範囲も広いため寒冷地での使用にも対応が可能です。

総合評価落札方式における技術提案 ミルモットが選ばれる4つのポイント

Point 1 NETISの「有用な新技術」として評価点アップ

NETIS の評価情報（いわゆる「V」の技術）の中でもさらに「有用な新技術」である【設計比較対象技術】であるため、技術提案時に採用すれば総合評価点アップに効果的です。また、受注後に採用した場合も、工事成績評定での加点が期待できます。

Point 2 電源・通信工事が不要であらゆる現場に導入可能

電源配線・通信配線が不要のため、日照を得られるモバイル通信エリア内であればどこでも設置可能。交通規制箇所の交通状況や路面状況の管理等にもおすすめです。

Point 3 パソコンと携帯電話でいつでも現場状況を把握・分析

現場の状況を自動的に定点撮影。例えば、天候状況や進捗状況といったことも把握できるため、機械の手配や人員の配置等にも無駄がなく、コスト削減につながります。

Point 4 ソーラーパネルと効率のよい情報収集でCO₂削減

太陽電池（ソーラーパネル）による電源供給と、KDDI が提供する au 電波網を利用したモバイル通信により、効率よく情報収集可能。CO₂ の削減にもつながります。

※総合評価落札方式の評価基準等は発注部局によって異なり、また順次変更されるため、本カタログの記載内容が必ずしも実態に合っているとは限りません。



概略図

①現場からの定点撮影画像

②クラウドサーバ

③パソコンやモバイルデバイス

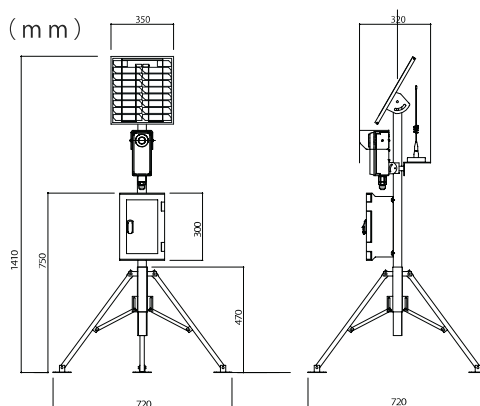


- ① 自動(撮影時間の設定)もしくは手動での画像撮影。
- ② KDDIの携帯電話通信網を介して撮影画像をサーバに送信・保存。
- ③ パソコンやモバイルデバイスからサーバのWebページにアクセス。
発行されたID/パスワードでログインして、画像の撮影や閲覧を行う。

仕様

カメラ部	
有効画素数	約30万画素(640×480px:VGA / 最大)
撮影素子	1/4インチ CMOSセンサー
画像圧縮方式	JPEG
画像サイズ(px)	640×480/320×240/160×120
制御信号	接点入力2点 接点出力1点
定格電源電圧	DC12V
消費電流	約0.3A(最大)
防水性	IP54相当
動作温度	-20℃～+50℃
電源部	
公称電圧	12V
容量(20時間率)	7Ah
充放電コントローラー	6A(定格)
収納ケース	IP65相当
ソーラー電源	13W相当

外形図(mm)



設置例



概要

- インターネット接続で簡単に使用できます。
- ミルモットを利用して送信されたデータは、専用ASPサーバに保存され、お客様のパソコンや携帯電話からインターネットを通じて、画像データの参照やダウンロードを行うことができます。
- お客様にて画像撮影の操作、撮影時間等の設定や変更が可能です。
- ID/パスワードの発行により情報サービス提供者を制限でき、セキュリティ対応も万全です。
- 接点出力信号を遠隔制御できます(オプション)。

<動作目安>

1日に約20枚の撮影が可能です。

毎日照動作 / 7日間(満充電時より10枚撮影 / 日)

※ 屋内で使用する場合、上記枚数以上の撮影をする場合は常用電源に変更可能です(オプション)。